

18
未 満



搾精病棟

性格最悪のナースしかいない
病院で射精管理生活

若手ナース編

原作 搾精研究所
作画 亀山しるこ

かよ...

かよ...

独りに
しないで...



子供...?

かよ...



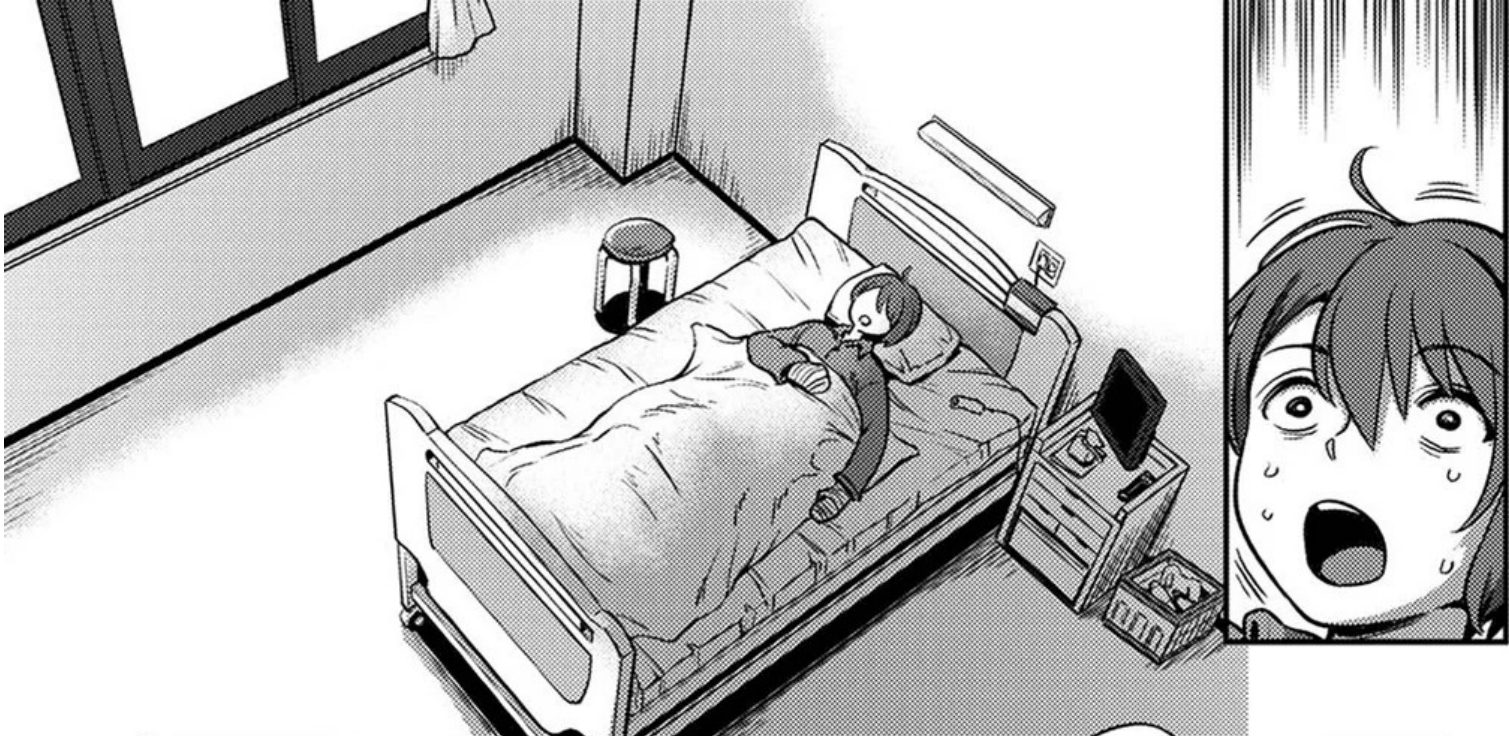
なんで
泣いてるの？

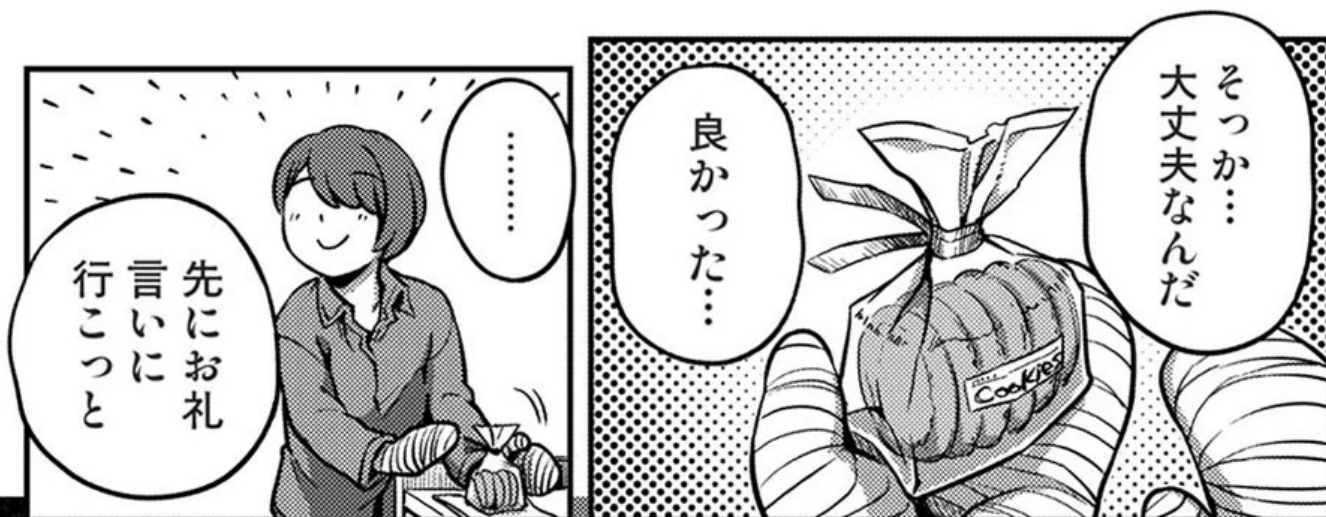
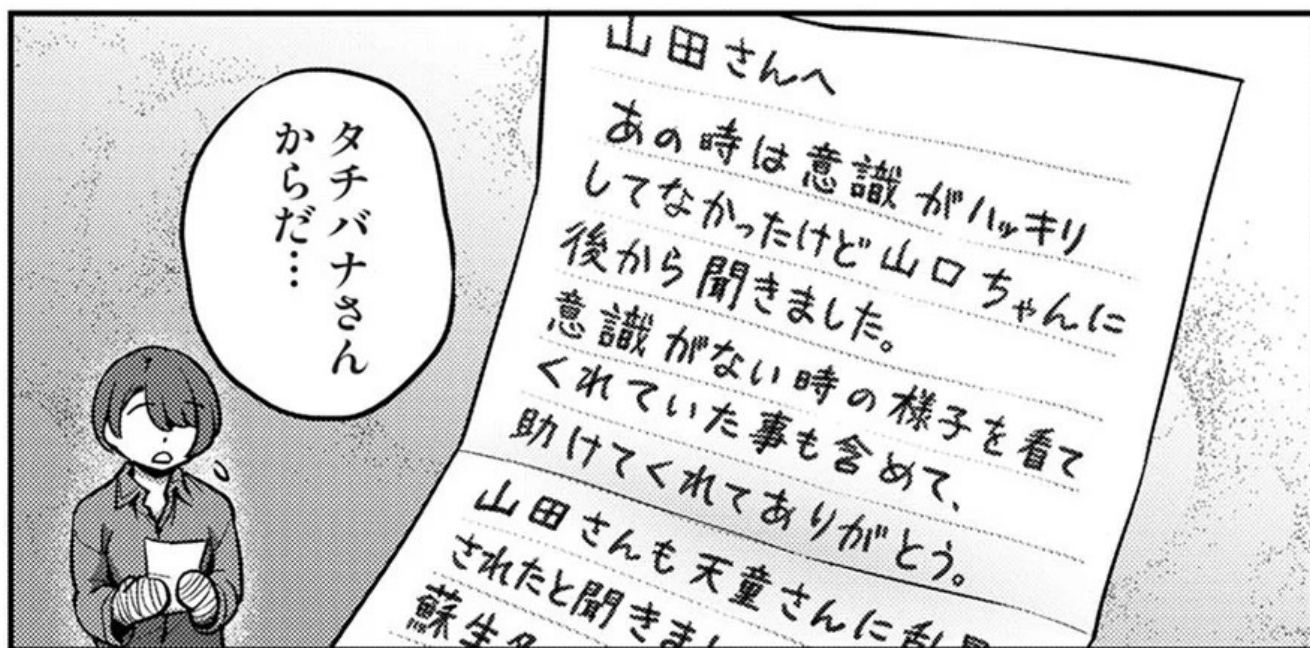


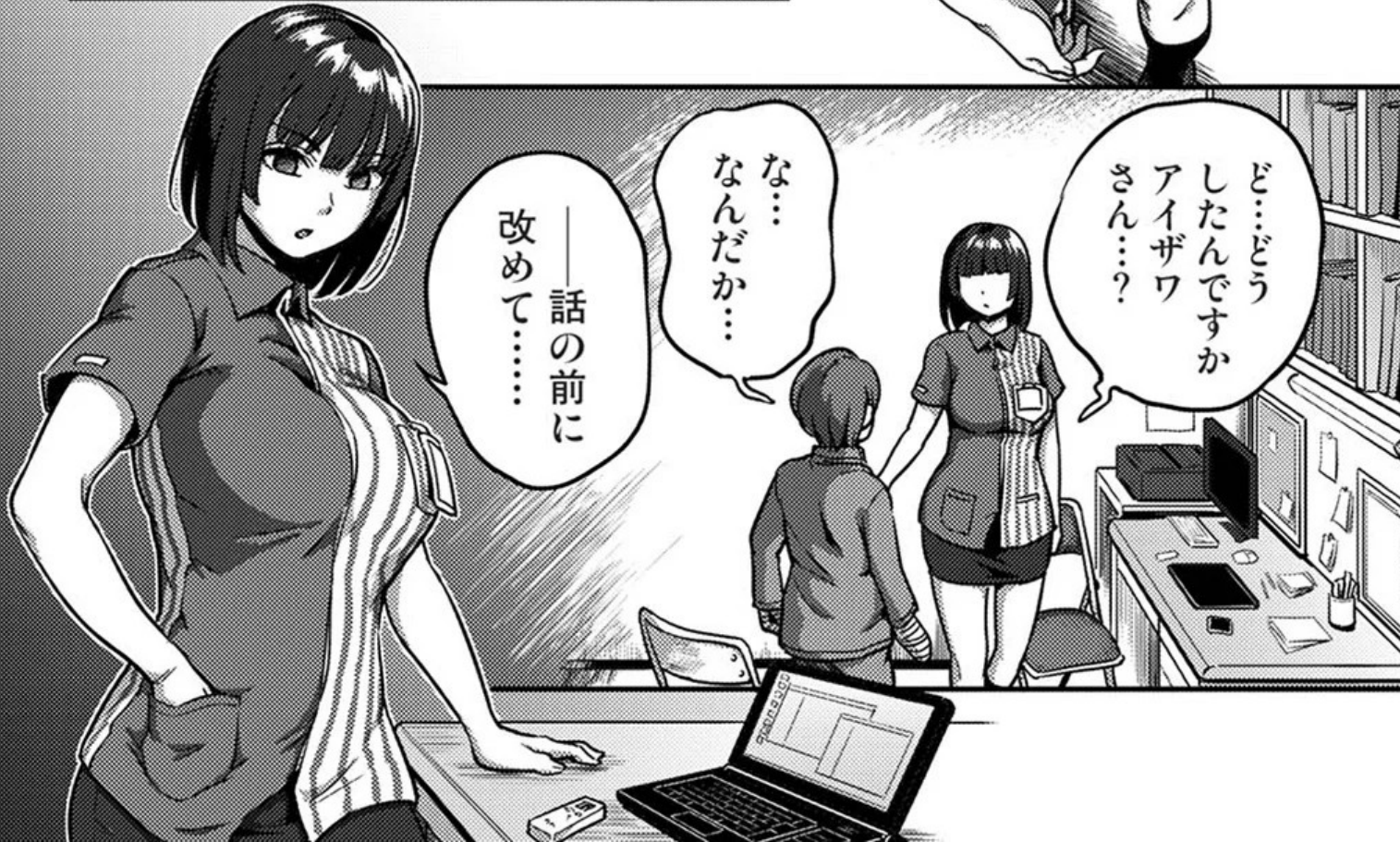
お姉ちゃんは
悪くないもん...



悪いのはっ...!!









この病院には
潜入捜査官
として
来ているの

警視庁
組織犯罪部
刑事の
アイザワです



警察…!!
アイザワ
さんが…?



ちよっ…
警察って…
えっ!!
どういう…

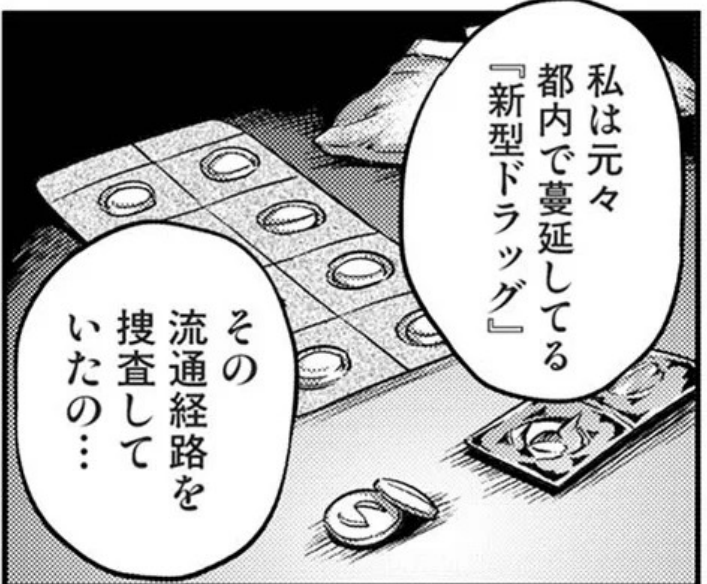
…順を追って
説明するわね



この病院




そして
捜査線に浮かび
上がったのが



私は元々
都内で蔓延してる
『新型ドラッグ』

その
流通経路を
捜査して
いたの…



君の担当医
アマミヤは
助手の
オオツカと共に

新型ドラッグを
開発した
張本人と
見ているわ

そして
ドラッグの
量産には

三大お局と
呼ばれる
又マジリ
キリタニ
テンドウ・ミア
が関与し…

それら全てを
看護師長の
テンドウ・マコが
主導して

裏社会と繋がり
流通させている

いわば
麻薬商人



あの
人たちが…!?

犯罪者…?
そんな
まさか…!



商人…?

…麻薬…



噂だけど…
怖い人たちとも
繋がりが
あるって…

キリタニ先輩は
キレさすなよっ
アタシらにまで
飛び火するからな

看護師長に
言いつけてやるっ

頭のおかしい
女医が
怪しい新薬
作ってて…

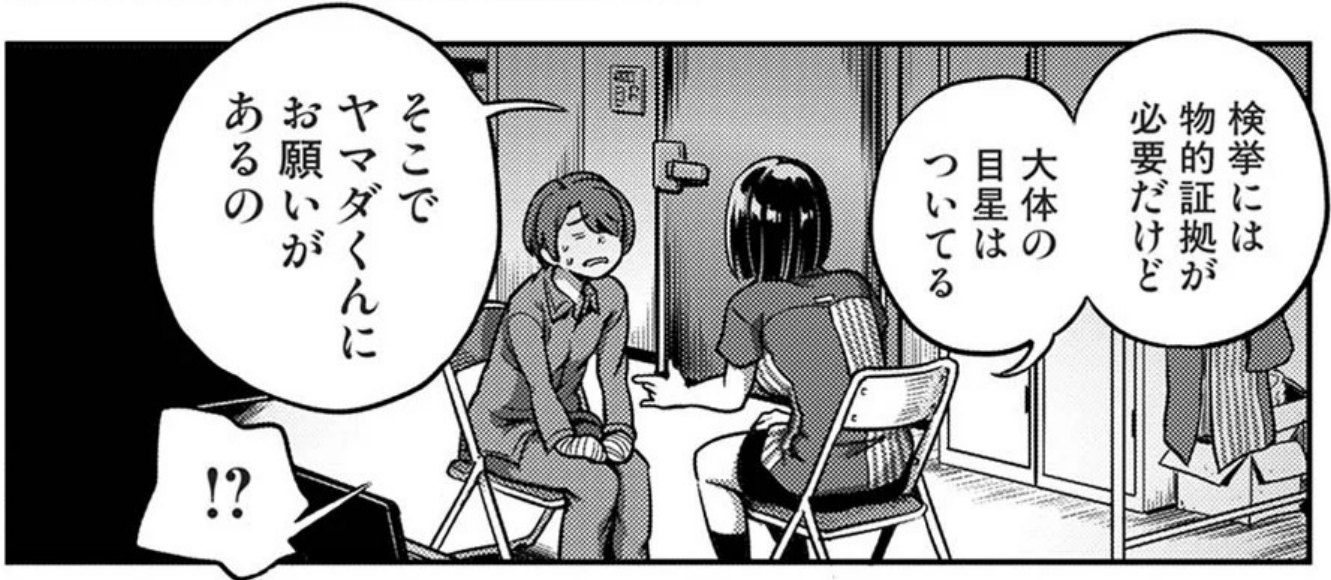
あ
わ

飼いたかった
わあ…

この病院では
誰も看護師長に
逆らえないの…

そう…
看護師長の
妹さん…

ちゃんと
看護師長の
許可は
得てます!









まったく…
ノーテンキで
いいな…



ねえ
ヒラマツさん



二つに一つ…
どうしても
決断しなきゃ
いけない時
どうしてる？

寝いん

おまおま



あーもうっ
サボり魔めっ
人の気も
知らないでっ

たぶん

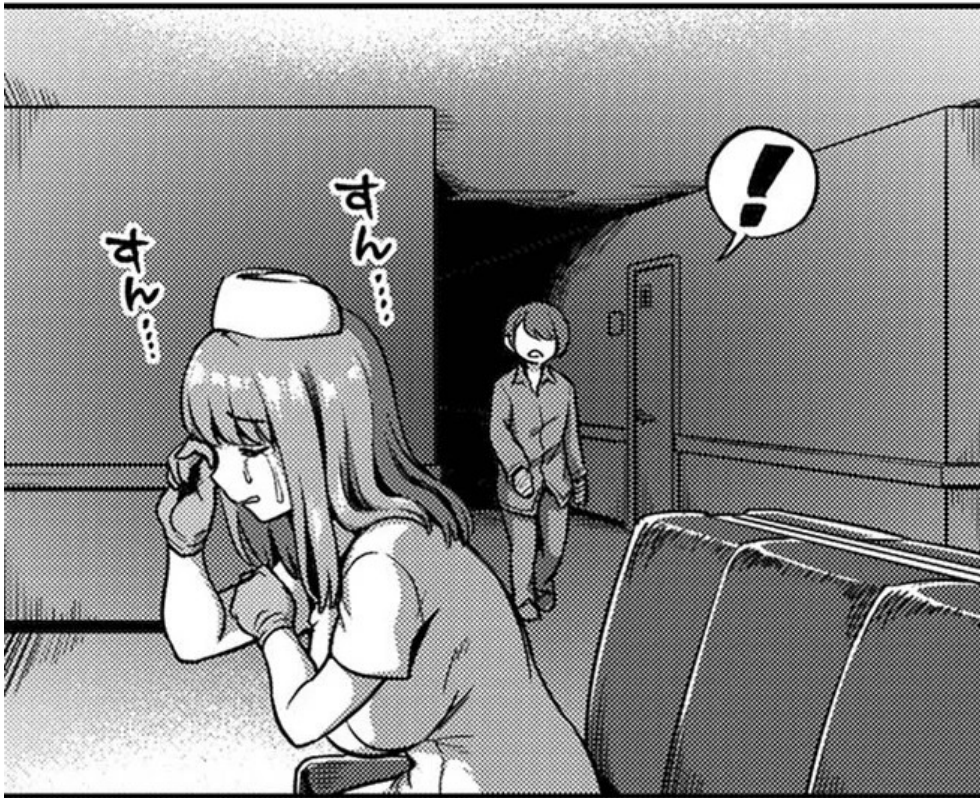
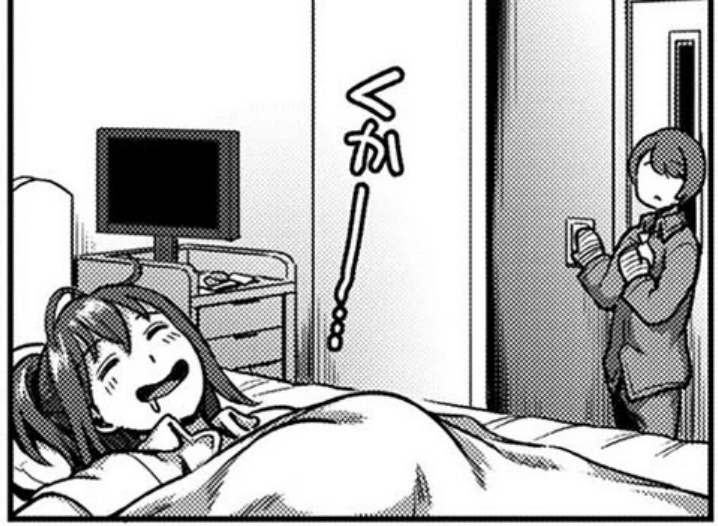
ふか…

おっぱい
揉んでやるっ



ヒラマツさん
目にクマ
できてる…

おまおま



またか：
あの人は！

ヌマジリ
先輩に
言われると
急に体が
こわばって…

それで
またミスして
頭が真っ白に
なってる…

…ダメだ
完全に
トラウマに
なってる

また
ヌマジリ
先輩に…！

だからって
あんな人に
関わるな！
なんて
言えない…

モチツキさんは
逃げられない
から苦しいんだ…

どうして
私ってこう
なんだろう

もう迷惑
かけた
くないのに…

ねえ
クッキー
食べない？

え？

ゴソゴソ

ありがとう…





※このタチバナはイメージです

目標の人が
目の前に
いてくれるん
だからきつと
なれるよっ



だってホラ
今は目標が
ハッキリした
じゃない？

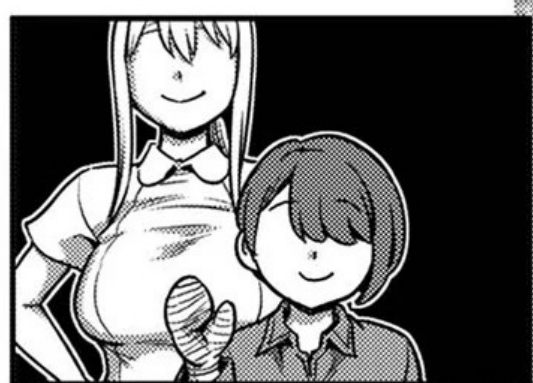


良かった
少し元気に
なってくれて

クッキー
ごちそうさまー！



そっか...!!
そうだよね!



以前のよう
にオナニー
して発散
してもど
んどん自
分がか
嫌いにな
って追
い詰める
だけだ

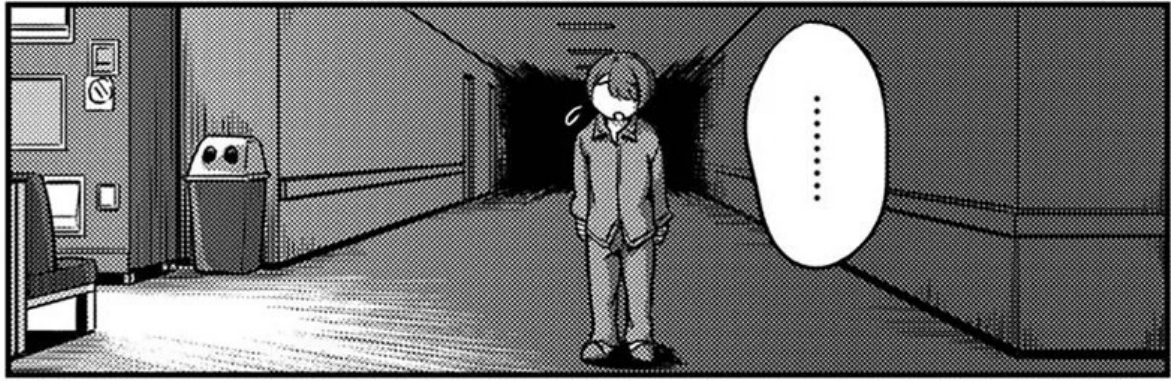
あんなに
傷ついた
モチツキ
さんは
もう見
たくな
い



ゴキ
ゴキ
ゴキ

きゅん











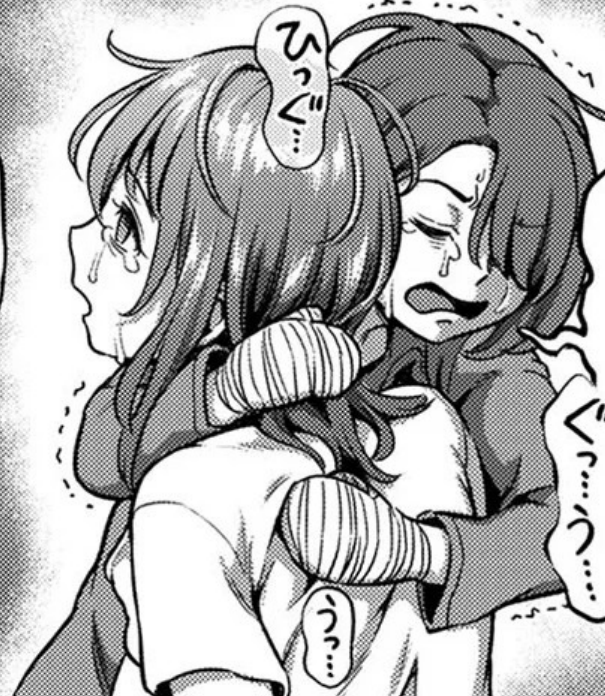








ひっ…
……死んで
ほしく…っ
ないんだよっ



ひっ…

うっ

うっ…

そりやあ僕も…
辛いよ…
苦しいよ…



でも…それでもっ
タチバナさんが
本当に好きだから…

幸せに…
なっ…て欲しい…

タチバナさん
だけじゃない…
ヤマグチさんも

モチヅキさんも
ヒラマツさんも

みんな…
いい方向に
変わって
いってる…っ

だから
お願いだよ…っ
クロカワさんも…

このまま
終わりなんて…
あんまりだ…!!



うっ…



変わるんだ…っ!!



このまま
じゃダメだ



— そうだ…



何…
言ってるの？
そんなの
無理だよ…

— これは
僕が預かるよ



この病院を…
変えるんだっ

皆が
辛い思いを
しない…
クロカワさんが
生きていたいと
思えるように…

ヤマダくん…？

だから
約束して――

僕が
この病院を
変えることが
できたら

絶対
死なないって

